

名古屋三河道路(西知多道路～名豊道路区間)の都市計画の案を作成するための基本方針(案)及び環境影響評価方法書に関する説明会

- 1 とき 令和8年1月25日(日)午後3時05分から午後4時10分まで
- 2 ところ 知多市勤労文化会館
- 3 来場者 37名
- 4 出席者 愛知県 都市・交通局 都市基盤部 都市計画課
愛知県 建設局 道路建設課
知多市 都市整備部 都市計画課
- 5 内容
 - 1)挨拶
 - 2)名古屋三河道路(西知多道路～名豊道路区間)の都市計画と環境影響評価について
 - 3)都市計画の案を作成するための基本方針(案)について
 - 4)環境影響評価方法書について
 - 5)質疑応答

【質疑応答要旨】

質問等要旨	回答要旨
計画が順調に進んだ場合、完成はいつ頃になるのか。	現在は、都市計画手続の初期段階です。今後も各段階で説明会などを開催し、皆様からのご意見を踏まえながら、計画の熟度を上げてまいります。皆様のご意見を丁寧に検討していく必要があるため、現時点では、明確な完成時期を申し上げることはできません。都市計画手続だけでも複数年かかる見込みです。その後、事業化の段階に入り、詳細設計や用地交渉を経て工事に入るため、完成まではかなりの年数が必要となります。

<p>動物や植物の生態系への影響を調べる調査地点はどこか。</p>	<p>動物は、ルート帯の外側 250m を目安に調査します。夜間に活動する動物については、夜間調査も実施する予定です。植物は、ルート帯の外側 100m を目安に調査します。</p> <p>例えば、動物では望遠鏡による観察、徒歩での踏査、昆虫用のトラップ設置など、ルート帯全域を基本に、種や生息域に応じた手法で調査してまいります。</p>
<p>基本的に、インターチェンジは幹線道路の近くに検討されているようだが、知多市内のインターチェンジはなぜ西知多道路などの幹線道路から離れた箇所に計画されているのか。</p>	<p>西知多道路側に寄せすぎるとインターチェンジが密集してしまうため、東側の既存県道付近への配置を検討してまいります。また、この地域は南北方向の主要道路は多いですが、東西方向が不足しているため、南北方向の道路に接続させることで、より有効なインターチェンジの配置になると考えております。</p>
<p>インターチェンジができることで、その周辺の豊かな自然環境が工業団地などに開発されてしまうのではないか。</p>	<p>現時点で具体的な土地利用計画は決まっておりません。交通利便性が高まることで開発が進む可能性はありますが、無秩序な開発にならないよう都市計画に基づき慎重に対応してまいります。</p>
<p>設計速度 100km/h、4 車線という計画における安全対策はどうなっているか。</p>	<p>道路構造令等に基づき、曲線をできるだけ緩やかにし、急な上り下りを避ける可能な限り走りやすい設計を目指してまいります。</p> <p>防護柵や照明灯などの具体的な安全施設については、都市計画決定後の事業実施段階で、事業者が詳細に設計・検討していく予定です。</p>
<p>開通後の交通量増加に伴う騒音の影響をどう予測し、対策するのか。</p>	<p>住宅に最も近い位置など、影響が大きいと考えられる地点を選定して予測し、環境基準等との整合を評価してまいります。予測結果が基準を超えそうな場合は、環境保全措置を検討します。この検討結果は、準備書の説明会でお示します。</p>

<p>環境影響評価で大きな影響があるという結果が出た場合、すでにルートが決まっ ていては対策が困難ではないか。</p>	<p>都市計画手続と環境影響評価手続を 並行して進めることで、調査結果に基づ き、必要であればルート帯の中で道路の 位置を調整するなど、環境影響評価の予 測結果を都市計画に反映させながら手続 を進めることができます。それでも回避で きない場合には、環境保全措置の検討を 行います。</p>
---	--

(説明会配布資料)

- ・名古屋三河道路(西知多道路～名豊道路区間) 都市計画の案を作成するための基
本方針(案)
- ・名古屋三河道路(西知多道路～名豊道路区間) 環境影響評価方法書のあらまし